



発行：公益財団法人国際労務管理財団（IPM）

東京本部 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-26-6 新宿加藤ビルディング7F
http://www.ipm.or.jp/ TEL：03-3354-4841(代) FAX：03-3354-4847

TOPICS

ページ

2025年度のご挨拶	1
インドネシア児童養護施設訪問	2
4月にお正月を行う国	3
日本語報奨金	4
在留手続等に関する手数料の改正	
ミャンマー大地震にかかる寄付金のお願い	

2025年度のご挨拶

2025年度の開始にあたり、皆様にご挨拶申し上げます。

先日、2024年末の外国人在留状況が出入国在留管理庁から発表されました。外国人入国者数、在留外国人数共に過去最高人数となりました。近年来の少子高齢化や労働人口の減少といった課題に直面する中、IPMは外国人育成就労制度の導入に関する啓蒙活動やセミナーの開催、東南アジアとの人材交流の活発化など、様々な取り組みを進めてまいりました。

特に、海外における労働事情の調査では、日本の労働市場の魅力が低下していることを指摘されることが多くなっております。そのため、関係国へ日本の魅力を発信することにも注力してまいりました。本年度も引き続き、技能実習制度に替わる新たな育成就労制度の理解・普及促進に努めると共に、国際交流事業を通じて諸外国の青少年育成や人材・親善交流をさらに活性化させてまいります。これにより、日本の次世代に向けた取り組みが一層注目されることを期待しております。

本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

2024年5月吉日

理事長 池田英人

IPMニュースはホームページからも
閲覧できます



IPM WEB

Instagramではお役立ち情報
を配信しています



@93IPM

協心で創造する「五方笑顔」

適正な人材交流で、外国人材とご家族、受入企業、海外の関係機関、IPMの
五方笑顔を実現できるようサポートします。

人から人へ、手から手へ「心の通う専門サービス」

グローバルな人材交流を通じて国境を越えた心のつながりを創造します。

インドネシア児童養護施設訪問



訪問時に行った説明会の様子

3月12日に、インドネシアにあるウディアナ・ウィグナ児童養護施設に訪問しました。この児童養護施設は、バリ州ブレレン県にある社会福祉団体です。

現在、この施設には45人の子供が暮らしています。施設では、孤児や貧困に苦しむ家庭の子供たちに養育、教育、保護を提供しています。

施設の子供たちの教育は、小学校、中学校、高校・職業学校までの対応をしており、学習支援や宿題の指導も行っています。また、この施設はバリ島にある送出機関と協力して、将来海外で働きたいという夢を持つ子供たちにチャンスを提供しています。

今回の訪問では、日本での就労希望者と採用したい企業の株式会社武蔵野様と送出機関、IPMで面接を行いました。



面接の様子

面接に参加した候補者は、85%が高卒であり、そのほとんどが日本で働く目的は家計を助けることだと述べていました。経済的な要因が彼らの意思決定において非常に大きく左右していることが判明しました。

教育と就業機会は、児童養護施設で生活している子供たちにとっても彼らの生活に大きな変化をもたらすため、日本で働き・学ぶことに積極的であり、たいへん前向きでした。これらの機会はスキル、知識、そして経済状況を改善し、夢を叶え、人生を変える大きなチャンスだと考えています。

面接を経て、計2名の採用が決定しました。合格者の一人であるスタルチャさんは、妹を大学に行かせるために日本で働くことを希望していました。面接では、「日本で働けるのであれば10年から20年働きたいです。長く日本に住みたいと思っています。」と答えていました。面接後、企業に採用されたと聞いた時はとても喜ばれていました。



左より、(株)武蔵野 ズイ様、内定者 ペプリアニさんとスタルチャさん、(株)武蔵野 係長 黒岩様

4月にお正月を行う国

4月にお正月を行う国のうち、現地に滞在経験のある職員がカンボジアとミャンマーのお正月を紹介します。

カンボジア クメール正月「チョールチュナムトマイ」

カンボジアでは1年の内でもっとも暑さが厳しくなる4月にお正月がやってきます。今年のクメール正月（チョールチュナムトマイ）は4月14日～16日です。

お正月は3日間ですが、学校は約1か月休みになります。休みに入ると町中のいたるところで水かけが始まります。カンボジアでは水に加えて白いベビーパウダーを人の顔に塗る習慣もあるので巻き込まれるとなかなか厄介です。そんな楽しい水かけ期間が過ぎ、実際のお正月に入るとみんな地元や実家に帰り、家族と一緒に過ごします。

お正月のある4月は、1年の内でもっとも暑い期間にあたり昼間はとても動けません。ですのでお楽しみは夜。毎晩近所の人たちでお寺に集まり、一緒にお祭りを楽しみます。突然ランタン祭りのようにランタンを飛ばす人たちもいます。日本の夏祭りのように屋台が並び、踊る人、食べる人、ランタンを飛ばす人等、各々が好きな方法でお祭りを楽しみます。最終日にはお昼からお寺を飛び出し、みんなで踊りながら村を練り歩きます（炎天下の中1時間半

も！）。お寺に戻ってもうひと踊りをします（さらに2時間！）。最後に、感謝の気持ちを表すためお坊さんの前で一列に並び、一人ずつお坊さんの手に水をかけてお坊さんの手を洗えば、一連のお正月行事は終了です。終わる頃にはへとへとですが、一体感と達成感を味わえるそんな体験でした。

大人も子供も年齢関係なく、みんなで盛り上がり元気がもらえるそんなお正月。ぜひ、4月にカンボジア人に会う機会がありましたら「新年あけましておめでとう！」と声をかけてあげてください。



（上図左）ランタンを飛ばす様子
（上図右）水をかけあう人々
（下図）踊りあう人々

ミャンマー 水祭り「ティンジャン」

ミンガラバー（こんにちは）！今年3月28日、ミャンマー中部を襲った大地震は甚大な被害をもたらしました。そんな中、4月の新年祭「ティンジャン」を迎えました。水をかけ合い、穢れを清めるこの祭りは、今年は特に「復興と希望」の意味を込めて行われます。

一年で最も暑い時期に行われる「ティンジャン」は、悪運を洗い流す神聖な儀式です。人々は水鉄砲やバケツで水をかけ合い、笑い声が溢れます。びしょ濡れは「幸運の印」ですが、僧侶や高齢者、妊婦さんに水をかけるのは厳禁です。

街では陽気なティンジャンソングが流れ、伝統舞踊が披露されます。無料の屋台で甘い餅やご飯料理が振る舞われますが、唐辛子入りのイタズラ餅にはご注意ください！また、「ミャンマーの桜」と呼ばれるパダウクの花が咲き、鮮やかな黄色の花が街を飾り、祭りを引き立てます。

祭り後は鳥や魚を放生する善行を行い、僧侶の説法を聞きます。清らかな気持ちで新年を迎える準備を整えます。

東京や名古屋などでイベントが開催されています。水かけ体験やミャンマーの様々な民族料理を楽しめますので、ぜひ参加してみてください。

最後に復興支援のお願いです。被災地では食料・医薬品・仮設住宅が不足しています。復興支援にご協力お願いいたします。「ティンジャンの水が、ミャンマーに希望と再生をもたらしますように」



（上図）水祭りの様子（下図左）出家の様子。水祭りの間は出家することが多い（下図右）パダウクの花

日本語報奨金

日本語能力試験に合格した実習生に、IPMから報奨金をお渡しいたします。今後はN4合格者にも報奨金を支給することいたしました。

皆様の合格をお祝いするとともに、合格後もさらに上のレベルを目指していただけるようIPMはサポートしてまいります。

N1	合格者	・・・	¥8000
N2	合格者	・・・	¥5000
N3	合格者	・・・	¥3000
N4	合格者	・・・	QUOカード ¥500

在留手続等に関する手数料の改正

2025年4月1日より、出入国在留管理庁の在留手続等に関する手数料が改正されました。

手数料改定の例			
手続		改定前手数料	改定後手数料
在留資格変更許可	窓口	4,000円	6,000円
	オンライン		5,500円
在留期間更新許可	窓口	4,000円	6,000円
	オンライン		5,500円

詳細はこちらから（出入国在留管理庁 ホームページTOP）→

URL : <https://www.moj.go.jp/isa/>



ミャンマー大地震にかかる寄付金のお願い

2025年3月28日に発生したミャンマー連邦共和国の中部地域マンダレー付近を震源とするマグニチュード7.7の大規模地震で被災された皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。

当財団では被害に遭われた方々の一日も早い回復と被災地の早期復興を願い、被災地支援のための寄付金を受付しております。できるだけ多くの皆さまの温かいご理解とご協力を頂戴したく、ここにお願い申し上げます。

皆さまから頂戴したご寄付はIPMが責任をもってお預かりし、全額を現地で被災者救済及び被災地支援を行う団体を通じて活用していただく予定です。

なお、貴重な寄付金を提供させていただく団体については、現在IPMで慎重に検討を行っております。

■ 受付期間：2025年4月4日（金）～5月30日（金）まで

■ 以下のIPM銀行口座宛にお振込みをお願いいたします

【銀行名】三井住友銀行

【支店名】新宿通支店（661）

【口座番号】普通 8109860

【口座名義】ザイ) コクサイロウムカンリザイダンギエンキングチ

● 次回は2025年8月1日発行予定です